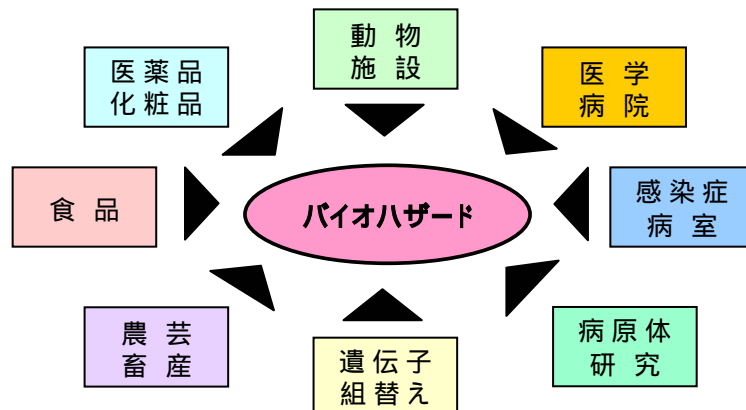


人にも地球にも安全で信頼性の高いバイオハザード対応施設

概要

バイオハザードとは、病原体等の取り扱いに際して、おこりうる災害のことを言います。病原体等からの感染を防ぎ安全に作業を行うための方策が“バイオハザード対策”です。最近では、バイオハザードの及ぶ範囲は、微生物実験室のみにとどまらず、病院の手術室、動物飼育施設、医薬品、食品、遺伝子組替え及び生物テロに至るまで拡大されています。



バイオハザードを必要とする施設・分野

バイオハザード施設対応技術

バイオハザードを防止するためには、微生物等の危険度に応じたバイオハザード対策を施した施設が必要です。すなわち、「**作業者の安全**」（病原体や病原体が生成する危険物から作業者を保護）と「**周辺環境への安全**」（外界への拡散を防止）を確保することが最も重要なポイントになります。熊谷組は、この2点を設計の中心に位置付け、人にも地球にも安全で信頼性の高いバイオハザード施設をご提案し、お客様のニーズにお応えします。

建築計画

最適配置計画 (レイアウト、ゾーニング、隔離)
 最適動線計画 (人、物)
 建築材料の選定技術 (耐薬品性、クリーニング性)
 異物侵入防止技術 (防虫、防鼠対策)
 防災計画

構造計画

免震・制震技術
 微細振動防止技術
 気密性確保技術 (二重殻構造)
 耐火構造計画

空調・換気計画

最適空調システム (清浄度維持、温湿度管理)
 最適室圧制御技術 (陰・陽圧制御、気流制御)
 外気・排気処理技術
 ダクト、配管の適正施工

衛生設備計画

最適給水計画
 排水の無害化処理技術
 感染性廃棄物処理システム
 抗菌・防かび技術

電気設備計画

室内照明計画
 受変電・配電システム
 電磁環境制御技術

運転管理・安全対策

省エネルギー管理
 自動制御システム
 火災時避難・誘導システム
 停電時対策
 滅菌・消毒技術